

事業所名

ぞうのしっぽ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの笑顔を広げ感性を引き出す空間作りを目指す。 ひとりひとりの個性を大切に思い、安心できる居場所を目指す。 子どもたちの成長を見守り、育て、サポートしていく。 保護者の方々、支援者の困りごとに寄り添い、都度、情報共有を行い連携した支援力を高めていく。 社会資源の1つとしてネットワークを広げ、地域と共存を目指す。 「できない」を「できる」という方向に導き、チャレンジ精神を養う職場を目指す。 					
支援方針		子どもたちの小さなサイン（心の思い）をキャッチし、笑顔や可能性を引き出せる空間をつくり、支援員ひとりひとりが専門職の力を発揮しながら、多職種が協力し、ひとりひとりに寄り添いあたたかいサービス提供を行う。 保護者の方々が安心できる居場所を目指す。					
営業時間		9 時	15 分から	18 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	主に健康的な生活を送れることを目的とし、それらのために種々の支援を組み合わせる支援を行う。具体的な支援として、看護師による食事等の介助から、食事の様子や健康状態の把握を行う。また自身での食事が可能な場合には、適宜スタッフが指導し食事等に関する技能を身につけられるよう支援を行う。障がいの特性や発達過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう観察を行う。					
	運動・感覚	身体の運動機能を維持・強化する事によって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として、作業療法士等による指導の元、姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び動作の改善等、健康維持のために種々の機能訓練を行う。					
	認知・行動	認知の発達と行動の習得を目的とし、種々の支援方法を組み合わせる。具体的な支援として主に感覚遊びを通して、様々な物に触れたり感じたりして、視覚、聴覚、触覚等の感覚等を十分活用しながら、認知機能の発達を促す支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を目的とし、指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。具体的な支援として、話しかける際などに身振り手振りなどを交えながら意思疎通を図ること、また子どもから身振り手振りなどの行動が見られた場合には言葉を交えながら褒めるなどで反応を促す支援を行う。					
	人間関係 社会性	他者との関りの形成を目的とし、活動や遊び介助を通し、支援者との関係性を構築し、社会性や対人関係の芽生えを支援する。具体的な支援として、一人遊びから支援者が介入した遊び、ルールを守る遊びを設定しながら社会性を促す支援を行う。					
家族支援		保護者の方々が子育てに関する悩みなどに関して、事業所での様子などの情報交換と、それらを踏まえたうえでの助言・相談を行う。保護者同士が喜びや悩みを共有できる場を作っていく。	移行支援		ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。途切れの無い支援のために、調整や情報交換を行う。		
地域支援・地域連携		将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ることが目標とした包括的な支援を行う。医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を行う。		職員の質の向上		必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を社内のスタッフに伝達する社内研修を併用しながら、支援員の知識と技術の向上を図る。	
主な行事等		各季節に沿ったイベントを開催する。例として、花見、七夕祭り、夏祭り、遠足、クリスマス会を企画する。					